

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【めざす学校像】

文武に偏りのない、地域と共に歩む、“骨太の人格”を備えた人材を輩出する学校

・・・骨太：何にでも果敢に挑戦する、そして少々のことではへこたれない、という意味。

「勉強を頑張る」「学校行事も頑張る」「部活動も頑張る」、何事にも真剣に取り組み、社会に貢献できる若者を育成できる学校・・・

めざす学校に近づけるために、育みたい生徒の力・望む教職員の力

【生徒に育みたい力】

○学び続ける力

○人と繋がる力

【教職員に望む力】

○生徒に関心をもつ力

2 中期的目標

1 学び続ける力の育成

☆国公立大学への現役合格80名（8クラス規模で）

(1)八尾高スタンダードの完成・展開

(2)教科としてのスタンダードの完成・展開

(3)1年次「1学期」でのボトムアップ

(4)自学自習・家庭学習の充実

(5)アドバンス教育コースの充実

(6)次期学習指導要領（平成28年度中を目途に答申、平成32年から順次実施予定）及び

高大接続特別部会（平成24年9月に設置、「大学入学者選抜」「高等学校教育の質保証」「大学教育の質的変換」を一体的に行う方策を検討）の研究・対応

(7)本校教員による講習・教育産業の有効活用

2 人と繋がる力の育成

(1)授業を大切にする、授業の緊張感を大切にするからこそその遅刻防止

(2)勉学に軸足を置いた学校行事の活性化

(3)勉学に軸足を置いた部活動の活性化

(4)人権教育スタンダードの策定・展開

(5)生徒指導スタンダードの見直し・実践

3 生徒に関心をもち続ける教育活動

(1)わかる授業・できる授業・魅力ある授業（生徒に日々の成功体験と背伸びする勇気を）

(2)教育相談活動の充実

(3)研修の充実

4 地域と共に歩む学校

(1)大阪教育大学における聴講制度の継続

(2)地域の中学校・小学校等との連携の充実

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成28年10~12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【生徒アンケート】 〔結果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育全体についての質問12項目に対しての肯定的回答率は学年による差異が見られた。1年生での肯定的回答率は昨年に比べ9項目でポイントがアップしたが、2年生ではポイントのアップした項目はなく、3年生では7項目でポイントがアップしていた。 ・「授業・学習指導・進路指導について」と「学習態度・受験勉強について」の項目については、1年生で、全14項目中13項目で肯定的回答率がアップしていた点が注目される。特に「進路選択の情報提供」の項目については、16ポイント以上アップしていた。 ・「学校生活について」の項目では、3年生が「文化祭・体育祭は組織的・効率的に運営されている」に対する肯定的回答が13ポイント以上アップし、92.7%に達していた。 	<p>第1回学校協議会（5月16日） 内容 「平成28年度の学校経営計画について」</p> <p>① 進路について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方の国公立大学への進学実績が上がっている印象だが、国公立をめざすなら近畿圏に限定する必要はない。旧帝大で取り扱っていない分野を多くの地方国公立大が実践している。数年前に比べると、地方国公立大の進学者が増えているというのはいいこと。自分のやりたいことが決まった時に、全国に色々な大学があるので、全国にどんな大学があるのか調べるということはしてよいのでは。 <p>② キャリア教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学を卒業しても自分の将来を考えている者はなかなかいない。もし、それが高校でできるなら素晴らしいこと。一人ひとりの将来の目的をはっきりさせる、俯瞰させることができれば、スケジュール管理手帳の利用がよい手段になるのではないか。

府立八尾高等学校

- ・3学年全体としては多少の増減はあるものの前年とほぼ同様の結果となった。

〔分析〕

- ・2年生については、学習面において、勉強に「しんどさ」を感じている生徒の様子が同われ、生徒のメンタルに対する対応を厚くする必要はある。
- ・1年生、3年生は教育活動全体、および学習支援の体制の全般についての評価は高かった。1年生での学習支援・進路指導体制で工夫した点を下の学年に引き継ぐ必要がある。
- ・3年生は文化祭で全クラスで準備に時間のかかる演劇に取り組んだが、受験勉強を意識して、時間を有効に使い、協力して取り組めたようである。

【保護者アンケート】

〔結果〕

- ・すべての項目で、前年と同様の結果になった。
- ・昨年比でわずかに減少したのは全36項目中、3項目だけであった。（「子どもは部活動や行事から多くのことを学んでいる(1ポイント減)」「授業参観や学校行事に参加したことがある(1ポイント減)」「災害時の対応について知らされている(2ポイント減)」の3項目)
- ・「先生は子どものことをよく理解している」と「八尾高校は進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供を行っている」の2項目は、10ポイントのアップとなった。

〔分析〕

- ・全体として印象は向上しており、担任の生徒・保護者とのコミュニケーションが円滑に行われている状況を反映しているものと考えられる。

【教職員アンケート】

〔結果〕

- ・「校長のリーダーシップが発揮されている(18.4%増)」「生徒の進路実現に向け、3年間を見通した進路指導体制が整っている」(15.9%増)」「学校全体に係わる問題の解決に向けた対応が迅速かつ円滑である(15.0%増)」が顕著に肯定回答が増えた項目である。
- ・「本校教育は、授業・部活動・行事・HR活動等のバランスがよい」の項目は肯定率が11ポイント以上の減少となり、46%の肯定率となった。
- ・その他の項目については、おおよそ例年通りの傾向となった。

〔分析〕

- ・校長の指導の下、進路指導の流れの共有が進んでいると考えられる。学年中心から進路指導部中心への進路指導の流れはこのまま進めるべきであると考えられる。
- ・授業と部活動等のバランスについては、議論を進め、教員の価値観の違いを乗り越える努力が必要である。

- ・手帳に30年後の自分のビジョン、社会人、大学での目標を意識させる項目があったらと思う。そういう方向で八尾高ならではの指導にもっていったら素晴らしいのではないかな。なかなか難しいとは思いますが、職業観をもっと持たせるようなカリキュラムが入れられればよいのでは。

第2回学校協議会(10月31日)

内容 「今年度の取組みの進捗について」

① 文武両道について

- ・「文武両道」は八尾高のテーマ。部活に偏ると疲れて勉強ができない。部活をコンパクトにする、また時間の使い方などの指導をするのも必要では。
- ・課題(宿題)などを勉強するだけで睡眠時間を確保するのが難しい学校もある。大学受験ではそのような他校の生徒と競うことになる。その点も意識して頑張らせてほしい。国公立大学への進学希望者数が春先と比べて減っていないのはいいこと。安易に妥協しないように頑張らせてほしい。
- ・部活動の方も今年はいいい結果が出ている。勉強と部活動を両立する、これが八尾高の魅力。

② キャリア教育について

- ・八尾高校に入学することがゴールになってしまってはいけない。
- ・キャリア教育、大学をめざす理由をしっかりと教えることが必要。八尾高校の卒業生は進学先も多く、色々な企業等で働いている。何のために進学するかを卒業生など、先輩に来てもらって話を聞くのもいいのではないかな。
- ・キャリア教育の面から見ると、将来何になりたいかが勉強するエネルギーになる。大学名だけでなく、学部にも早くからこだわり、目標を持つことが必要。それが忙しい子供たちの効率化につながるのでは？

③ その他

- ・以前は地方国公立大学を視野に入れる八尾高校生が少なかった。保護者の方への進路講演(講師 地方国公立大学から招へい)もあり、保護者も考えを広げるきっかけになっている。
- ・ここ10年ほど、学力を上げるということをメインテーマとして改革してきた。提案してきたことをどんどん取り入れて来ている。先生方の元気がなくなってはいけない。生徒の雰囲気も以前と違ってきている。以前は“どう頑張らせるか”が課題だった。今は頑張っている。生徒も教員も疲弊しないようにコントロールすることが課題。

第3回学校協議会(2月13日)

内容「今年度取り組みの評価及び次年度にむけて」

① 学校教育自己診断アンケート結果について

- ・学年としてのまとまりはあるように思える。上級生になれば、それぞれのカラー、いい点がどんどん出てくるのでは？
- ・八尾高校を志望する生徒が「アドミッションポリシー」を書く際、勉強だけを頑張るとはなかなか書けない。勉強、部活動、行事…すべて頑張る、頑張らないといけない、と思っている。入学したときに、意識改革が必要なのでは？
- ・大学進学だけが目標になってはいけない。人生の目的を持つことが必要。大学のさらにその向こうを考え、いつも一歩先を見据えて行動する感覚を身に付けてほしい。

② キャリア教育について

- ・八尾高校を卒業してからどうしたいか、という目的意識を持つことが必要。
- ・将来に目標を持ち、夢を持つ生徒を育てる。小さい時から意欲的に、将来への意識を持たせることが大事ではないか。その中で、センター試験の結果等に左右されず、第1志望は譲れないという生徒が多くなってきているのはいいことでは？
- ・12月にあった「保護者のための講演会」(キャリア教育に関する講演)は良かった。生徒が何の目標もなく、ただ大学をめざすのはどうか…。仕事観を育成する講演があっても良いのでは…と思う。

③ その他

- ・大阪市では区単位での説明会を多くの区で実施している。いろいろなところで八尾高校をアピールしてもらいたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1. 学び続ける力の育成	<p>(1)八尾高スタンダードの完成・展開</p> <p>(2)教科としてのスタンダードの完成・展開</p> <p>(3)1年次「1学期」のポトムアップ</p> <p>(4)自学自習・家庭学習の充実</p> <p>(5)アドバンス教育コースの充実</p> <p>(6)次期学習指導要領、高大接続特別部会の研究・対応</p> <p>(7)本校教員による講習・教育産業の有効活用</p>	<p>(1)今年度で完成させる</p> <p>(2)今年度で完成させる</p> <p>(3)国公立合格に対応できる基礎学力を養成する</p> <p>(4)①1年次に宿泊研修を実施する ②1,2年次12月下旬に2日間のロングラン勉強会(自学自習中心の勉強会)を実施する ③日常的に教科から要求する</p> <p>(5)コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成を重視した取組みを継続する</p> <p>(6)平成28年度中に明らかになるであろう「答申」の研究及び対応</p> <p>(7)①本校教員による講習を実施する ②教育産業を有効活用する</p>	<p>(1)3年間のスタンダードの提示</p> <p>(2)3年間のスタンダードの提示</p> <p>(3)・1年次生の授業の緊張感を維持できたか</p> <p>・2年次生の学力生活実態調査において、現役国公立合格圏内者数が105名(H27:105名)</p> <p>(4)</p> <p>①満足度 (アンケート肯定的回答95%以上(H27:95%))</p> <p>②満足度 (アンケート肯定的回答100%(H27:100%))</p> <p>③学校教育自己診断「家庭学習」肯定率(1年次生50%(H27:35%))</p> <p>(5)満足度(アンケート肯定的回答95%以上(H27:95%))</p> <p>(6)・内容の共有化ができたか ・対応策の検討開始ができたか</p> <p>(7)</p> <p>①・年間通しての講習の有無 ・学校教育自己診断「授業以外の学習支援」肯定率85%以上(H27:84%)</p> <p>②・活用の有無 ・満足度 (アンケート肯定的回答90%以上(H27:90%))</p>	<p>(1),(2)学校HPにアップ。(O)</p> <p>(3)HPへアップ(O)</p> <p>①1年生について(O) 遅刻数 94(12月末) クラブ入部率 90.3%</p> <p>②2年生について(Δ) 現役国公立合格圏内者数 98名</p> <p>(4)</p> <p>①宿泊研修について 満足度94%(O)</p> <p>③ ロングラン勉強会 満足度100%(O)</p> <p>③学校教育自己診断「家庭学習」 肯定率 52.4%(O)</p> <p>(6)項目「アドバンス教育コースは全体として満足のくものでしたか」 肯定的回答 92.9%(O) (選択者が十数名と少数のためほぼ昨年度と同等と判断しました。)</p> <p>(6)・各地で行われた「大学入学者学力評価テスト」研修会へ参加(O) ・運営委員会にて情報共有</p> <p>(7)</p> <p>①・通年講習(O) 前期19講座・後期講習23講座 夏期講習 7・21~8・5 80分×151コマを実施</p> <p>・学校教育自己診断「授業以外の学習支援」 肯定率 87.1%(O)</p> <p>②教育産業9団体からの講演、講習を実施 満足度 98.5%(O)</p>
2. 人と繋がる力の育成	<p>(1)授業を大切にする、授業の緊張感を大切にするからこそ遅刻防止</p> <p>(2)勉学に軸足を置いた学校行事の活性化</p> <p>(3)勉学に軸足を置いた部活動の活性化</p> <p>(4)人権教育スタンダードの策定・展開</p> <p>(5)生徒指導スタンダードの見直し・実践</p>	<p>(1)一昨年度5月から強化した遅刻防止指導を継続する</p> <p>(2)勉学に軸足を置いた学校行事を計画し取り組む</p> <p>(3)勉学に軸足を置いた部活動を計画し取り組む</p> <p>(4)昨年度の新入生より年次進行により策定する</p> <p>(5)生徒への要求項目等の見直しをする</p>	<p>(1)遅刻数の減少 平成27年度の10%減 (H27:1323)</p> <p>(2)・行事準備期間中の下校時間等、約束事の順守</p> <p>(3)・日々下校時間等、約束事の順守</p> <p>(4)スタンダードの提示</p> <p>(5)スタンダードの提示</p>	<p>(1)全学年遅刻総数(O) 936(3月末)</p> <p>(2)体育祭・文化祭等の行事の下校時間の厳守(O)</p> <p>(3)完全下校時間19時の徹底(O)</p> <p>(4)HPへアップ(O) 各学年の人権HRを実施(O) 1年・映画鑑賞及び講演会 「いのちがいちばん輝く日」 ・インターネットの使用について</p> <p>2年・弁護士による法教育 弁護士の仕事、少年事件、男女間の法律問題、家族・親子の法律問題、刑事事件と裁判員裁判、労働問題、交通事故、消費者問題、多重債務問題のテーマで9分科会形式</p> <p>3年・奨学金について ・ブラックバイトについて</p> <p>(5)HPへアップ(O) 情報端末の指導について実施 ノースマホ・ウィークの設定 年間2回実施(4月、10月)</p>

府立八尾高等学校

<p>3. 生徒に関心をもち続ける教育活動</p>	<p>(1)わかる授業・できる授業・魅力ある授業（生徒に日々の成功体験と背伸びする勇気を） (2)教育相談活動の充実 (3)研修の充実</p>	<p>(1)一人ひとりの生徒に関心をもちた授業を実践する (2)高校生活支援カードから教育相談への流れをつくる (3)・人権研修を実施する ・学校外の研修を伝達する</p>	<p>(1) 授業アンケート「授業に対する生徒の意識」項目のポイント (3.14 点以上/4 点満点(H27:3.14)) (2)・支援を必要とする生徒の情報共有（年間5回以上の全教職員での共有） ・教育相談への流れ（学年会議→保健部会議→教育相談係会議→SC を含むケース会議）の継続 (3)実施の有無</p>	<p>(1) 「授業に対する生徒の意識」(○) 興味関心が持てた 1 回目 3.09 2 回目 3.17 知識・技能が身についた 1 回目 3.14 2 回目 3.21 全体として 1 回目 3.12 2 回目 3.16 (2) ・職員会議で報告全職員で情報を共有できた。(○) ・SC の来校時に合わせてケース会議を実施、アセスメント及びアクションプランを作成できた。合計 10 回開催 (○) (3)2 回実施 (○) テーマ ・外国籍生徒等の対応について ・発達障がいについて</p>
<p>4. 地域と共に歩む学校</p>	<p>(1)大阪教育大学における聴講制度の継続 (2)地域の中学校・小学校等との連携の充実</p>	<p>(1)昨年度より大学の事情で対象講座数が減少するが、充実した取組みを継続する 2)・八尾市立成法中学校区の「チャレンジキッズ」に参画する ・地域の小学校、幼稚園との連携を継続する</p>	<p>(1)・希望生徒の聴講実現 ・満足度（アンケート肯定的回答 98%以上 H27:98%） (2)実施の有無</p>	<p>(1)聴講講座数 参加人数 延べ 46 人 (実人数 38 名) 満足度（「興味を持てた」） 97.5% (○) (2)実施の有無 (○) ・八尾小学校との連携 マラソン大会への協力 ・安中小学校との連携 どんぐり拾い等環境教育への協力 ・八尾市選挙管理委員会との連携 主権者教育の講話 ・環境アニメイテッドやお (事務局 八尾市環境保全課) 環境フェスティバルへの協力、参加 ・旧植田家住宅 (NPO) 生徒会・茶道部 餅つき大会、お点前への協力 ・龍華図書館との連携 (書道部) イベント「今年の文字」への協力 ・みよし保育所・ゆう安中東保育所との連携 (家庭科保育実習)</p>